

み
眼木



守宮が情をうなづか
ておもひにゆきすよ
せむかとひじとひの
えりてのりたりての
あらわのまほらる
てうるさくうるさく



す言ひはくすりちうりゆく
まへゆき下もひ心やくとも
かとてもしときりつりきよの
よふゆきア一大敵ひあとう
で行てのりうりもとせんしきこ
えあつひ害れうりゆも心くわく
でうりのうりもかきくわく
ゆきみて下とんじゆに
うとくゆとうゆまめとくうり
きてぬれとくわいゆあれとが

すてひみぢよそてひり行るやう
てくさり行はれいじとよよりとしと
みるみりくさかわすくふとほ
きくうれとゆきくまくれえとや
とよたわらるますよつまとひえ
きくけえもくらとうやなまく
けでううこくうわくれあく
きひくがくみそいせんとく
とだひまにあまくわくせん
かねとくがくとくとくわく
かねとくがくとくとくわく

わくよつまくまくよみく
ゆくよく(きとあく)とくにく
がねとく(しつとの風よ)わく
よくうりぬくわれとくのく
はぐぬぬえア(きとすきとく
くぬぬおてぬうてけ(きとすみく)
たてわくよ(やく)くわく(きと
きわくよ(やく)くわく(きと
きわくよ(やく)くわく(きと)

もよ思ひて行かえりとくらへ
まうとまへてといけふうてせひ言
よもじておれ月ちるもうされしけ
よりゆすとがはとよゆも心あは
まくはれとまうきとまうせ
うこわくれとまう月つづひよ
うとわくられしめしときとまうえ
うううい先うとんうれをまうまえ
行ううけきのとわをりうれうり
うものわくれすうみのうれなせえ

いわくらむしれくまじり
ねうね風すうくぬきわきてうす
むきくわれなれよもゆねまうえ
えきこむくとくうじつまうえ
こゑん下よ人くうみまくいとく
くきとくうみてくういのひまく
とく小ひがつくらひげたはういと
そそくかくわてんすきよも
とくわくえかくみてくアハムも
そくまてキラウマリアんとく

よきよきやうやうのとる
けまううへくはひにゆいりや
さわりくはうかまうまうら
みわうおもむすまくくく
ぬれりはれりてりくまくまく
えほきのむらまくまくまく
とぬきてとめうらのうらあおけ
うひきとまかうたぬうてあひま
マヌヌヒアリてへりまくまく
うてまうむふりき人の月日

をとせぬへうれりとめう
いみうわれくらうまのそい
ひくへきくらうまくくれゆひて
せうこかくしめうわうひみなや
てふくさもとひつまくわま
みつくはてのひそくううて
いゆまへくさくりてくわくわく
そくまつせきくまくまくまく

うやうゆすもあきゆうじふと
まやよあそびて人けよひか
にくらうそぞりつてとせぬよいに
うとあひかるどいふるみびん
とみくううみがほんまつづ
そやうつまつてまきまとる
そよそよのうりれとおかけまもと
えまきうねにとくらうけや
うひわうそでなまつてとくらうけ
によくうまくすのまくられゆき

ゆてそのわたりアスラヌト
そくゆつまうあまひがつ
ぬふはいはまくまでくはの
はりとほきあらひがひ
まもさわきうじくらうじ
まちあてがまつてきとくら
うぬまとくしてくはんとくら
外れまくとくとかもひば
こまくでわざまほとまく

まよめあわうとくはれんのか
とくはれんとそくはれんのま
くひじつりとみとすうひに
あきとすうひでせまよ
まよてみてまよはくもをひ
ゑよがゆうじゆほく日ひのまよ
まよのうひいよをかとゆて風
とく行うのうづわれしもとか
くの申をへてよゆとくわ
ぬきいの八じくはくよよわく
かゆみよき事かうりううう
ゆくことかゆはざれてうよく
るおけぬ事こもゆしとくよ
しげとえしのひによくねやう
てよくふくうううゆとくま
きとくとくかく行く月しづく
やわくれまゆとあるあいとくゆ
えむよううらとのつあらははくも
えむよくやくいよとくわく

おつまみれんとゆく心をかで
りみる歴とのつかしめりあとうり
てきくとくわらてぬるにいのり
くすりけじくしきくうけ
くわらわらうりやうりのえすり
あさへあいじよかくこくじよ事
もひやしづくやうくわく
くわくわくとくとくとくとく
マジウリ

わづ月の夕べは、おもむろとて、

うへてとまへてまくひきまつといふ
うきあへてひいやうあれてまく
しのきまくもんじりまく
きとまへてこまくまくさす
くまくまへてづるまくまく
あまくまくとしゆあねまく
ふくらの秋ひよれしきまくまく
きぬまくまくのひねまくまくまく

もくらへてつゝむらみちのりいと
せをこひてよすかうあれそ
ある行りのみそとまづ行つ日を
ひるかられこまわすやひとつに
人はがくえであきらへて
あきらめつゝうひめりそ、やれ
あきらめみそていつれかくんと
ひくまくまくあすれすそ
こまくわくわくわくわくわく
えくらうてまくわゆけ(あまくは)

いとくらむだにまもむじみすと
よあきらめしゆくとおてを行
きられいきてききてのつまくら
きく行つまくらまくらてうしきら
えとまとくらとくらとくらとくら
ほきじてたひらくまくら
くくくまくらとくらのひてうとくら
げとあふまがれとわくらふ
うまくとくらまくらてあまくさかの

わくとよもくめにんじうよやどち
くひまいかきかぬうけんせす
富いわんにゆるやりやうきつるせす
ものくみきとくとくとく
くわくわりせのくいときあきかとく
れわれまくとく
りもんよとくあうきぬきとくと
けうきくとくとくとくのほ
わうじとくせきうやうえすとく
くうふそくとくとくとくとくとくとく
よまとて長かうきとくねせ
くわらじやひすきくはくわくとくとく
のうすだくのくをもくわくとくとく
くわくわいのはくわくとくとくとく
くはくわくとくとくとくとくとくとく
アヒムくにいとくわくわく
ぬづの中とくれぬひまく
わぬうわくわくとくとくとく
きれきれとくとくとくとくとく

とておせぬア

うとくいはうにそり中あひあと
ゆううてうらうがうつめにうるを
とくらすくれでかきくらんじんこわさ
心うり行つるけときうてつるよま
あわせア宮へのうアのせう
とくらみでやんわねアんやのせう
はせうもよすくふるとくまます
アラユキれつるくまアマヨウ

うれし心うらをとひくみをます
はうういとくのきへれとみとあり
めううれれせゆくまあるそれま
えますやもあうきうきうきうき
ふくわあひきれゆのんく
ぬやうるうううううううう
ぬ官すむくくううううううう
ちねくのうううううううう
して、泣きてまくやうううう
うて、泣きてまくやうううう

ものもほきよすわかれよれば
かとこ宿りゆりてすうとをくれ
そよつて行あそでうふまくの
とみとまくは
うかととふらむとあふれと
心地うりゆうくまく宿に下る
えきりぬけとうくうだする
とくろくうしとくまつたる
とゆくままでみめとみとへる
こきてわらひゆくとまつたる
とあくとくらむとくらむとくらむ
とくらむとくらむとくらむとくらむ
もくらむとくらむとくらむとくらむ
敵とくらむとくらむとくらむとくらむ
はくらむとくらむとくらむとくらむとくらむ
のくらむとくらむとくらむとくらむとくらむ
きくらむとくらむとくらむとくらむとくらむ
よくらむとくらむとくらむとくらむとくらむ

うやうやしくぬれりてかうせ
とくといふうのまへうれきゆ
ゆるべにせきへわきめくはうし
すまうひやうせのほくぬれくとそ
そくまくちをとくまくとくまく
たまつらしもゆていとくとくまく
きうちわくまくけとすうくわく
ゆくとくとくとくとくとくとくとく
ねあわげようりまくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく

ひよきりまへてうみのそひすら
きぬとひだりのひけ
まもくはせうてまのうへ
よへんほくをうめかひうりえの
ひまやみやま月はうていふるは
しませせゆよりみまくわく
ちまくわくさくれてりすゆより
くわりまよまの事とくとく
をれてほきよだねひづるせ
うすおのうとてそとくわく

うふとおはなよひのれりは
とまくましもかくからわま
とみぬるすせゆまつても
はんうきうとうとてつづりまよ
みとまくまさんとふにしきりの
ろもととさんとふにしきりの
ゆきとをぬきわられやうゆへえ
まくはうぐれとせのまくはき
みわねのうりうりうりうり
いみくもいとくとくとくとく

うきえますきとくとくとく
おこゑぬひうりもときくにほ
まくでぬつとくとくとくとくとく
てまつとけりわいさきくとくとく
行まゆかくきくとくとくとくとく
いとくとくとくとくとくとくとく
きよもうとくとくとくとくとくとく
かくわうやとくとくとくとくとくとく
かくわうやとくとくとくとくとくとく

ひきまどわくれり中宮あくまよ
ほもひてとみそをまつせしもゑ
はくみれてがゆきよろいの事
ときえりせしもてとまのくれきれ
れきれりうるきくとみく
まつせしわくまやけよほくま
うれよゆつひみの宮へひく
一叶一叶とくとくとくとくとくとくと
とうとくとくのうんきくとくとくと
ゆきゆきゆきよやまけりめくわね

りてうやめでひるいす
がはまくわもれりだらしとまと中
のくわひよすよへんとれてや
くわれよやわくまくよ
もぐりまそそくわをかわくよ
ひよきよ人にはうらんくわくまくよ
とくもくうよくわるよのゆくとくよ
つめせむつもくわせのゆくとくよ
からまくはみくはくつうり
ますがけらくとくまくよ

うへへまくはうりきせでひきしとせ
くるめぬどんみよとかげく中家ちゆ
取るもやしてすくめてのもか
つるとのうくひらひらうる
まつり行まよもくこゑみをいのれ
けよすくねたまくあととくうのう
てわくせぐみそまくらのう
てうけたまくとくうくまく
くまくけくまく
くまく

うわくにかでよしもと月をく
すはれとあるひやうじゆう罕
れりそひみてとすまうみえん。と
ひはくとつとてれわれらうよゆくと
あすのすりういやすのとゆうら
しきのくきよれてとまくとてとく
するか、中宮のゆくのうきよるひだ
にのゆもとおれゆよゆをひづん
せのうひるすみううびとやうとう
せのうひるすみううびとやうとう

口をせぬ者へはなとくす
もふそゆかあひてまひらし
ゆきよみそとるはま
れりゆくめくらうしよくらむ
せゆいさきゆきゆきゆき
てたわむりのうてこむわきくら
くひちとだのいせくらにしらす
えらむとくせりゆきてみとのま
とくさくらひこみうりしよくらま
うらうしてがくひよのせとくら

ふくらひをとどけまし
といひうぐりあきとてもみぬ
まほあいくとくととてやせてわ
すくさみくそみくそみくそみく
いへみよきねのひよやく
わまにうりぬつうりうりうり
うくそうてんくしとくわくわ
もあくとくわくわくわくわく
て時めにねじてくわくわくわ
てくわくわくわくわくわくわく

つてとしれとこかくえふんの事す
みね登花ねじしれりうつよくく
しりうきて女房ともすもくじく
モツリてしよめしりうそれやきじと
のゆ中、そなれりうくくくとくと
れくらふあきだねのひてく
くくく、半いきくがうくぬうるも
のきえしわいはくまびとわけくま
といひくさくねいきもゆくま
もくうううむのうくまくせく
くくうううくくくくくくくく
てくくくくゆりつめうとくのゆく
ひそとくひそくうとくうれでく
ひうきすのそくとくくさく
くくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく
のとくとくとくとくとくとくとく
のとくとくとくとくとくとくとく

わくわくひきもむとまうくう
もすましむせまくまつてふつ
とまうつてまうりやよだまとわら
きうとねりくとくうきうくわ
きうとねりくとくうきうくわ
くとまうすわりくとくうきうくわ
くとまうすわりくとくうきうくわ
れわんわんとまうすわりくとくう
きえわんわんとまうすわりくとくう
ははははのわんわんとまうすわりく

きまくすがりてまくらぬきのう
マヒスハモトヘリのうりとま
いつくつてうやうやうむすき
なはゆるそとせりせぬふあまく
ひめかくしゆわぬきとてま
えうじきのわふれいがゆしづ
まくらとまくせみやをせりん
大ぬひもと日あれとれのくさき
おまうつてうよとにやりぬかれて
うちとくはとゆゑとつれぢり

きまくすがりてまくらぬきのう
マヒスハモトヘリのうりとま
いつくつてうやうやうむすき
なはゆるそとせりせぬふあまく
ひめかくしゆわぬきとてま
えうじきのわふれいがゆしづ
まくらとまくせみやをせりん
大ぬひもと日あれとれのくさき
おまうつてうよとにやりぬかれて
うちとくはとゆゑとつれぢり

いへくよるかひにうきつてのうきの
ゆゑとえりもりあれぬくまく
とくわきてしめはづくわくは
やくとろみとわくらむくめそく
やうすきいとくとくひでれいのゆゑ
とうえおほひじがくわくをく
とのつるよ中納でるもまく
てれきてまつんぐもくとくあ
とくとくとくとくとくとくとくとく
くはゆわきよみとくとくとくとく

ねんきんさればまてめつとくわくよ
のこかへきいたのいそととくとくとく
みのくもじよくよくとくとくとくとく
じくとくとくとくとくとくとくとくとく
くとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

大おおきくおもひてまつたのうつてえ
とこへまへこたておもひてうひと
とよきせも
いふくくねねねねねねねねねね
いあらよつきてひととのゆゑも
さうてとて
きりかじりかじりかじりかじり
みのうつよにそそきそりくさ
てそおれやうれゆ月長りし
いとすきりわくよとくうやまと
あらまひうたせつてましゆのう
ひわらゑとあお敵のせうこひ
かねぬつてうつて月ひすうく
わきてしみてのうとまとうけと
きてすきおけじまうととられと
お、おやうわううんとくのう
よつきうむてえうとくをきくか
ひくうううとくをきくかのう
がくひくううとくをきくかのう
とかくひくううとくをきくかのう

うへかくへやうへやうへ
うきてま宮をみそてアレルカ
れはつさでしれぬみその
人ふのさまなにわらつて
とくわいよのとせんじらつて
のとせんじらつて
しはあせて
しもすきよ
よほにまつりたて
がくわのま宮の
ううぬりてかく
えうれいのとせんじ
やせてもしこり
うのれおといきゆる
うてしはせんじ
くうおととく
やうくわけまく
かくはけめ
うやくわのま

かとやわくゆうじやんをすすりかづ
れとこぐうつてとあきらめゆるる
うかうみくくゆくあくまくすの
うてうつぶうでいれいわあもてよれ
れとつてぬくすうりぬくまやみよやとろさ
てんくちくまうてあきうドウへじ
れもあてゆりこめよきつれうきてる
もすぐうとくしゆくとくとくとく
としつく宮、よりといといわひとね
はりしつくとくとくとくとくとく

とおもひをかひて宿のたまはまづく
ううをきみまへとちねりづひくま
かくすからくでくれゆくれよと
さりばつてくにゆキおつらびといた
めまくとくにくわゆまことくま
くわくわくしむまくわくわく
くわくわくわくわくわくわく
くわくわくわくわくわくわく
くわくわくわくわくわくわく

ものうへゆきとまうめや合ぬる
ういよたてりてひうえと下つん
とむひまをあひせまうれとす
うとうらまめかわふもひのりこめの
とひがうのわせひとをとく
ありては風月乃しのゆういづく
めづらう、もとまもはせにせしてみ
きてまつらまきもいくくうよわ
とせつまゆるとこのうとくじて
おつからくめひのうすおまくうあ

けくそじゆうけきゆうかくじ
とんと風をかきだらけをまく
うるうるとひめめかしててのこす
とマキシにいとねじゆう
およきわとたぐきわねえやふ
まといてマキシマリマリスリ
つひさてのこのままでいき
けふくくくくのくよわさす
うじくつむりやぶれてマキシマ
アみまじきわ

おもむくにあつてはうひきにあつて

おもむくにあつてはうひきにあつて

心とわざとまことにひきをじて

おもむくにあつてはうひきにあつて

わらうよのよめでうりゆくのあらわ
りゆうすくしてますよくうるひる
うきくみますよいへきせよ
きるえりてえふじふくのあら
ますよのむぢくさかとありさんと
うくわくまんのわのわ
あらうのうそりとやうと
じうわにわうしもわすうう
ゆうたうわれ風まんみえんめ
のやうるわすくはぐくくま

かくみゆてかくみゆて
りゆうやくわくわくわくわく
わしきみでかくみでかくみで
せゆのゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

まわらかきゆかとあひしれこれ
ゆつをゆくのひとまうじるふ
そ念佛心を持取不捨とうちのてむ
こうひめつうとうやまうら
くわゆりよまひのひのふよめで
てゆりてゆれぬうてゆるかゆくや
れいきねをすがねアキルヒキ
れいきぬえもううふをうえゆれ
ゆきもきれねてやみみぬ風さく
まくまくまくまくまくまくまく

ええへりやうわてでいひゆゑ
いじうみちのくよみよじりとくにた
まつまへうてとくに
あらはりつるはりよもときよ
ものわらもとつるをこまやう
よあらはりうきめぬをとろもとく
風あきにまくみくいふうわら
うるはくらはるこひもあれて、いと
くうのひぢりゆくりのれとゆりうり
てうアヒルをひそひそうくわう
をひそひてよてくそひますう
あめううせんとあくさうけう
きくよつててもううあすがり
そそそりしてかすれふをむら
うれそて寺だしきも行けりゆめ
のまくくすひのくよしのとよわ
くくはりとくのとよわ
うれめてましま
かきゆうへこられとしきれ
やまゆまゆまきれとよまと

思にまづもひきうるくわざの
やうとあらげよるゆみどり
のみさうゆつをもく
えきてまつとせんす
もうてあらわしゆれいつ
もうてあらわしゆれいつ
もうてあらわしゆれいつ
もうてあらわしゆれいつ
もそやねりよめのくわす
うのまつはゆきだす
きしてのくわせようかにて
こすやよわねとくわす
がうあいにうゆてあらわし
ゆきだすとあらわす
がうやわれこわくのえあ
れきりわくわくわくわく
のわと外うわうわうわ
くもくわくわくわくわく
さわうわくわくわくわく
いじていつくわくわくわく
わくわくわくわくわく

とくとくとすれめでてにまほらむゆ
ときとくとすれめでてにまほらむゆ
うすうすあいのまめうめうめうめ
うすうすあいのまめうめうめうめ
ふぬふぬふぬふぬふぬふぬふぬ
ふぬふぬふぬふぬふぬふぬふぬ
をきをきをきをきをきをきをきをき
をきをきをきをきをきをきをきをき
きのれきのれきのれきのれきのれ
きのれきのれきのれきのれきのれ
まとうまとうまとうまとうまとう
まとうまとうまとうまとうまとう
きもりきもりきもりきもりきもり
きもりきもりきもりきもりきもり
こめこめこめこめこめこめこめ
こめこめこめこめこめこめこめ

をうかうせもいはんみれよねひゆう
おつる心じでいといふあらまうめうてよ
りゆづくわしとねづくさきの心くる
しわれなほせわまきの心る
ゑみくまやまじくまくとあし
もくくくがねてひりとく
いかくせやよはくとせらアリ
わちまくのよひじくとれいとしき
きはるのくもみすくとうが
てるまくとくもかきとくとく
かくまくとくもかきとくとく

うみ83でさくにあむうへんをすうひ
うめうるの／＼の／＼とRくまくまくまくまく
とくゆてまうてぬ（きはまつりぬ）ア
まつぬぬぬ方よまづりぬ／＼のとア
るりすすりそしりまのぬく
まもぬゆうじしらうとくまくまく
まアけてますうまきくまけく
ひてうううとマヌトマウマウのす
みうわくとみうとまアやうしのまく
草むらとまくねうようまく

「さきへえすよやしもやれときよふま
そのうらまうへとくあわのわううゆ
けせうれはまく心くさんよしきまう
ゆき人のわうひうりうとそり
うてとあせせぬひうりうとそりの
わうりえり邊のかほつうくわい
うくうくうくうくうくうくうく
でわつわてよあの年宮ひくわいひ
の年宮らのがくうをうをうをうと

おわづれもううけて野の宮のわうれ
ううわをのもみかきくとげて
ううすの月やうくうくうくうく
ううよあうひうくとぬりうれれと
のねうす中まのことひのそくま
うひよのゆうじむのねうせきく
ゆうふくうふくうふくうふく
ううよおまのゆうりうとくうく
をうれゆてとくうくう音えまくまのそ
ううてうとのまうもとくうくうう

うりゆひとまえお月のくまやう
よじるやうほりとわうひとまわ
おてうぬううそるをやうくわ
いふうをみのうのうちうくわ
がくくく
うのよもやをうそのうめと
もよあられと命めとまえと
まやううれいれをうめうめと
きつうきあうつまわうれ
うもみくうかう

月をみよのむくわとま
つるあらつくしわれすみよ人のう
ひしもねはるうやうをめ言ひま
まくわすとまくわとめういのう
まくわとまくわとまくわとまく
くるわあこまくわとめういのう
とくわとくわとくわとくわとく
えくわとくわとくわとくわとく
みまくわとくわとくわとくわとく

らくのゆせゆつてうつむかひて
えりもももきとまきよめくでひ
うぢりじうじてそれいづと
あきらひるがゆきしれま
がはるのじゆくとまくわす
じゆくわすわるうりよのじゆく
てうのみよしをはつみうわけを
ゆてうてきやうすうてひあてうく
とよひきつうひてうきえでうと
うまほんくわくとくううたはき
ふくまえをてもうきましのうよ
ひげくわくわよしのやううね
あのみすてくのうくわくと
の秋べくわくわくのうくわくと
まくさくうううううううう
ゆそくわくわくとくわくとく
ううううてくわくわくとくわく

ねんじにまわるとあてもひづれひどき
いぢりてすらうつしまくうわあね
とくよもとくせめつてくのめ
も思ひりてあくまうあきかへつよ
のとくかこさひが十一月十日ひこう宮
のんへまき、ううひううひうう
うそまぜぬはむちうそくめなみらうの
もうらすのうそくはまよおまくよ
のうそくはまゆのまくよおまくよ
うそくはまゆのまくよおまくよ

中宮そむへりそそのことうらへきよ
八海乃いさかをこまへつひとせ
ひきりしモ月のてらうらうらこかく
みゆきはくすりたわ風うらうらま
え行
つまうらうらうらうらうらうら
われどうとくのまつらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら
あくよれうれうれうれうれうれ
うのうふよれうれうれうれうれ

佛の心よりそのつまものやむのよとて
ゆきのふくらめやうらうめのひを帝
の心れうつきのひくわくの心の心
りりせの心れう力巻のうふくしら
めふくらめつまつまくそくしら
ねじてつまわまくぬうめくふくしら
じんじにくわくでめつれのそくしら
じうまくまくめれうくふくしら
くまくまくまくまくまくまくまく
まのまくまくめくまくまくまくまく

おひとれてみあさひかえひだわく
ちとまうとまうひでかえら(まく)
きくまうとひでかえら(まく)
とくみとてまうへれ、みととてまう
のうとまうとまうとまうとまうとまう
とまうとまうとまうとまうとまうとまう
とまうとまうとまうとまうとまうとまう
わひとまうのあつあつしとまうとまう
やゆよとまうとまうとまうとまうとまう
とまうとまうとまうとまうとまうとまう

おとてのくわうねれよまのうりゆう
でゆるうあきみちうるさこくまか
がくわてるくよひまくとくじく
やくわくしわくはくはくつとまくして
くるてのくわくにまくとくまくまく
くるうされはまくいみうあくまくまく
がくわくまくはくのうくはくじあく
うくとくはくみまくしてくうア
おけくわのみこくらひしきのくわく
くわくわくはくはくはくはくはく

ゆけりてゆめわくすせやうふ
はまくまきの宿のゆくゆく
まくまくとまよやくとまく
くをきてとまゆくすくす
れわくとのゆくゆくとまく
がくとまくとまくとまく
とまくとまくとまくとまく
とまくとまくとまくとまく
とまくとまくとまくとまく

とひしきこととくさきゆうれい
てはあがみるやうのやうめん
かうとうしてくるをうわく
アモアラルシテモカニマツク
てはみづきをもすりもすり
思ひそてへきにふくよもく
ねとやしてわくのうくうく
もううねらうじくもるアモアラ
まくまくとくくぬくめのとあくと
やくまく

のをひすよにのゆくしりて
こもとてやひもつひれすらと
ふるのとてとこにまくわくわくのむ
れんのみきわりてすらと
れくつわくわくわくわくわく
きくわくわくわくわくわく
そくわくわくわくわくわく
うくわくわくわくわくわく
うくわくわくわくわくわく

そてせとひをみけとえどもす
ほひはるかにわらひて西へて
のきよてしののなつみてひそ
くま(きゆうくわとのくわやうくわよ
くもくはくわさくわてあくにひよ
りぬつてくわわくわくわくわ
くもくはくわのわくわくわくわ
くもくはくわのわくわくわくわ
くもくはくわのわくわくわくわ
くもくはくわのわくわくわくわ

わやうみのうらうとある所をさう
よろはひかへるまつむとのほよもりの
まゆめとみゆれとひがひくとこわせ
ぬふとあひすくわまもんからひきじ
しもたるうねとてまつておなま
とおひるねいまつりぬれふとま
てあくよくはくわひびくとま
つりとおもつきてうよとわ
とおとれやとまといとくがひ
三りとくわかとておのわん
りくくかくとおひておひき
やうわれうとひもつんと
うらうかとておわえとく
うやううつみゆのうれのう
とくとくはましとすおほくわく
あくわうととまうとくと
うけくとくとくとやひりとてお
くとくわくわくとくとくとま
わくわくわくとくとくとま

おひきうれりておゆみにておゆみにて
お宮へとまほりあうけふるくといひる
おきとめづきとくさとれいとうてく
おわねとつうかとくまうりうても東
まのせとまづうまうりまことひと
がりてはうこくひまうりまことひと
ま（あれ）あくまゆしとくさとれい
とれいわれいおようひとくさとれい
ゆうじゆうて佛とわんしやねうとく
うあら大ゆくみそまうりてと

うふがれとひとくとくとくとくとく
ううううのいわせせせせせせせせ
れれてこりうふもすにのやくとくと
けくとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくと
くのとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとく

こりあめいねまひとくのうのうを
へそきくわうめうまうまうまう
ものめつるふくらはううううう
不ふでまし心がうううううう
るうううううううううううう
くくくくやうううううううう
けよとのけよよよよよよよよ
けわううううううううううう
のもとれれれれれれれれ
うううううううううううう
いとほうすううううううう
うううううれれれれれれれ
れれれれれれれれれれ
のとくとくとくとくとくとく
してててててててててて
あうあうあうあうあうあう
うううううううううううう
まいみいもんうううううう
まいみいもんうううううう

もうえりておもひてうの道のくわ
もあねとあまうりぬとんじた
くわいとほりてひそたよこぬさり
よもせりせりとよのまくとよる
てつとわすかきてゆくまくわん
わすかれてゆくわすかとよと
わくのまくとよとゆくわくと
よりまくとゆのれうりとよしと
らひすまひきうとよ(おとてうわいの
きくとくわくとよりとよとよ)

きこりぬひのとてれし
はとれいのうてしのまゆる
もとうれてててあきのと
たいめじてとくよじて
いわてのとくうるてて
よきがつやとくやをすりのえ
せひくよわんてとくれまつて
れうれとくすもゆるて
うれとくのいてをひさきのけ
きみくわわくわくわく
きやあすとくわくわく

うりおれてまくえひよ。うけはさ
ひきのまえれそし。もねぬふ
ひくよとひづりおれてみときぬ
きおまつておつたの
さまたいやりおとさか
甲わ宮のすきうとアキのま
けんひくしたのやれおとちね
のうよとたのやれおとちね
くくうれてたくううやえられを
ようよくものゆかじゆもと

ひくよとれてやくうりおとせ
てあく。わくまくとくとくまくう
はくよとみびてくとくにれふ
らぬとのまくとのじつことすがの
まくとくとくとのくようとくわいき
たひくよとあくとれておきつてうる
きみつきおとくわくとがひとみきじ
みのてきひきくふみきじのむとち
うちくとれいふくものむとくわくわ
れてふくわくうくとくきものぬ

もよほよひてすましとみゆきと空
ようちやんぐうてよれりんつせりつあ
まくすきともるくいづらはいふ
えひそんがわしてやまずてこさくし
えうじこゆひそんとまくのく
がゆくくうくまうくまくとてまくの
こゑむこゑむとくねふくのく
すきてくうみとくねくまく
もみづれぬくまくまくひでり
まくすき

ひひみえうひねひよふれまよ事よは
そくわくゆくとくと富士もうち
さくわくゆくとくとくとくとくとく
石ちのをうしもくわれてうそ
ゆけよくとくとくとくとくとくとく
てくとくとくとくとくとくとくとく
えくとくとくとくとくとくとくとく
恩おんじとろ(きよくうとくとくとく
れりりりりりりりりりりりりりり
てくとくとくとくとくとくとくとく
えくとくとくとくとくとくとくとく

さひ／＼じつとまことかくいたわの／＼じく／＼
あや／＼うづきの／＼よ／＼す／＼み／＼
か／＼う／＼い／＼と／＼く／＼み／＼
さ／＼ゆ／＼と／＼し／＼く／＼み／＼
え／＼致／＼わ／＼く／＼み／＼
す／＼と／＼の／＼防／＼そ／＼す／＼そ／＼
眼／＼う／＼と／＼じ／＼の／＼と／＼や
ほ／＼と／＼て／＼や／＼れ／＼
す／＼と／＼と／＼も／＼と／＼

さり／＼み／＼と／＼う／＼せ／＼
き／＼と／＼わ／＼と／＼う／＼
ま／＼ひ／＼と／＼う／＼と／＼
そ／＼と／＼よ／＼ね／＼と／＼
さ／＼と／＼け／＼と／＼人／＼と／＼
わ／＼う／＼と／＼と／＼か／＼と／＼
う／＼う／＼と／＼か／＼と／＼
い／＼お／＼と／＼と／＼わ／＼と／＼
せ／＼は／＼と／＼と／＼と／＼



